やる気 笑顔 元気

稲荷第一小学校
学校だより４号
令和４年７月１日

※学校ホームページもぜひご覧ください　→　http://www.magokoro.ed.jp/inaridai1-e/

大変うれしいニュースが飛び込んできました！！本校５年生が水戸市平和作文コンクールで優秀賞を受賞し、表彰されます。また、水戸市平和大使に任命され、市内の児童と共に広島を訪れることになりました。作文には平和への思いが身近な出来事を通して、深く描かれていました。今、世界で起こっている一番の関心事へも心を寄せている作文で大変感動しました。ぜひ、皆さんにも読んでいただきたく、原文のままご紹介します。

平和作文コンクール優秀賞

ぼくが平和のためにできること

ぼくは、晴れの日の学校の休み時間が大好きだ。友達とドッジボールをしたり、おにごっこをしたりしてあせをいっぱいかいたり、おなかがいたくなるくらい笑ったりする。

ある日、別なチームでけんかが起きた。ドッジボールのゲーム中にルールをやぶった人がいたことが原いんらしい。今、世界でも大きなけんかが起きている。ウクライナの人達がロシア軍のこうげきを受けていて、道ばたにたくさんのい体が放置されているというニュースを見た。「これが戦争なんだ」ととてもショックだった。もし、同じことが自分の身に起きたらどんなに悲しくて、どんなに苦しいだろうか。

どうしてけんかや戦争が起きるのだろう。ぼくは、ゲームに勝つためにルールをやぶったり、自分の都合でルールを変えたりするからだと思う。みんなが自分の都合でルールを変えてしまったらどうなるだろう。平等や公正はなくなって、ゲームや遊びはけんかになる。世界では平和がみだれて戦争になる。そして、ぼう力やテロ、はんざい、ひんこんが起きて、楽しい友達との生活もできなくなる。ぼくは、そんな世界はいやだ。

どうしたら戦争やけんかがなくなるのだろうか。どうしたらみんなが平等に平和な生活が送れるのだろうか。ぼくは、差別のないルールや法りつを話し合いで決めて、そのルールをみんなで守っていけばいいと思う。今のぼくには世界のルールを決めることはできない。でも、ぼくにもできることはある。まず、人の意見を聞き、自分の意見を持つこと。一人でも多くの人と戦争を起こさないように話し合い、平和を守る意識を持ち続けること。そして、みんなで決めたルールを守ることだ。この行動をみんなが少しずつ積み重ねれば、世界中から「争い」「戦争」がなくなり、平和な世界が広がっていくのだと思う。

ぼくはこれからも友達と楽しく遊んだり、家族と大切な時間をすごしたり、平和な生活が守れるように、決められたルールはしっかり守ろう。世界中の人々の話に耳をかたむけて、自分の考え方や意見もしっかり伝えられるように学んでいこう。そして、ぼくとみんなの平等と公正な行動が世界の平和へとつながることを願っている。

本校の自慢 【笑顔プロジェクト】 目標：みんなを笑顔にする

※運動会後の学級活動では、学校をつくる主体となってこのプロジェクトに取り組んでいます。

6-1　学力を上げようプロジェクト

自分たちで自分たちの学力をあげたい。

6-2　二代目あいさつレンジャープロジェクト

学校中を自分からのあいさつでいっぱいにしたい

このプロジェクトの目標はみんなを笑顔するということ。高学年となれば活動範囲が広がり、やってみたいことがどんどん湧いてきます。簡単に判を押さない。ダメ出しをするのが校長の役目です。詳細はHPでご確認ください。一年生は二学期からの企画に備え他学年の取組に参加しています。